

## 平成29年度「校外へ公開する研究授業」実施報告書

学校名

伊那北高等学校

課程 (全)・定午前午後夜ⅠⅡⅢ・通

本年度実施した「校外の人々を対象とした研究授業」について、次のとおり本校ホームページに掲載したことを報告します。

ホームページ掲載日	平成29年12月7日(木)						
実施年月日(曜)	平成29年11月6日(月)						
授業時間(時限)	10時10分～11時15分(2時限)						
公開学年・公開教科(公開授業名)	1学年 英語(コミュニケーション英語Ⅰ)						
授業者名	田村 奏子						
形態	初任研・中堅研・教育課程研究委員会・小中高算数・数学研究会・その他( ) (○をつける)						
授業公開対象者	県立公立高等学校教員、県教育委員会指導主事・専門主事						
授業参観者数	校内		校外			その他	合計
	教職員	保護者	教職員	地域住民等	生徒	( )	
	12人	人	人	人	人	人	人
校外の人々の参観にあたって特に配慮した取組	県立公立高等学校、県教育委員会事務局教学指導課、総合教育センターへ案内を送付						
授業研究会の時間・参加者の範囲・参加人数・参加者から出された主な感想・意見	時間：11時25分～12時10分 参加者：校内教職員 7人 主な感想、意見 ・授業の構成はスケールが大きくてよかった。(ジグソー法、グループワーク、ICT機器の活用等) ・教材として設定した内容(グループワークのテーマ)は、教科書の内容と比較して難しすぎたのではないか。						
成果と課題	・電子黒板を活用するとともに、グループワークによるジグソー法を取り入れるなど、授業内容の充実に向けて意欲的に取り組んでいる。 ・教材の選定、時間配分、指示の出し方、グループワークの持ち方など、より深い学びに導く授業改善を目指した取組に期待したい。						

(注)「校外へ公開する研究授業」実施後、その都度直ちに、内容を各校ホームページに掲載するとともに、それと同様のものを電子メールの添付ファイルで送付してください。様式については、これ以外の項目を付け加えるなど、各校で工夫していただいて結構です。